

チャリティーゴルフコンペ(伊都ゴルフ倶楽部)令和4年11月29日

一般社団法人九州動物福祉協会
理事長 葉真寺 偉臣

恒例となりますチャリティーゴルフコンペを今年度も伊都ゴルフ倶楽部にて開催いたしました。

今回は例年よりも多く40組144名にご参加をいただき、盛大に開催することができました。

チャリティーにご賛同頂いた参加者をはじめ、協賛頂いた企業の皆様への感謝とともに、これからも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ここのえ
九重の風



No. 8

一般社団法人九州動物福祉協会
福岡県福岡市中央区渡辺通 5-2-25 7F

藏内勇夫理事より会員の皆様へ メッセージをお届けします。

理事
藏内 勇夫

人と動物の共生社会の実現を目指す当一般社団法人九州動物福祉協会は、私が県議会議員に初当選する前、昭和61年に設立された社団法人福岡県動物福祉協会を前身とし、平成24年の改組により活動のフィールドを広げました。私は、この福岡県動物福祉協会創立以来のメンバーとして、40

さて、このようにして、私は、仲間や支援者に恵まれ、当協会の一員として動物愛護運動とその先にある人と動物の共生社会の実現に取り組んでまいりましたが、もうひとつ、私が、獣医師、そして県議会議員の立場から、ライフワークとして取り組んでいるのが「ワンヘルス」実践の取組です。

「ワンヘルス」は、人と動物の健康と環境の健全性は一体のもので、人の健康を守るためには動物や環境の「健康」を守ることが不可欠だという理念です。したがって、人と動物の共生社会の実現は、ワンヘルスの実践における重要な目標の一つでもあります。

そこで、私は、去る7月に全米獣医師会の大会に招待され、講演を行った際に、この分野の先進地アメリカの状況を調査するため全米でも有数と評価の高いコロラド州立大学獣医学部を訪問し、同大学が運営する教育・啓発施設SPUR(スパ)を視察しました。このSPURは、子供が獣医の仕事疑似体験したり、馬などの動物と触れ合う中で豊かな情操と共感力、動物や環境を大切にすることを養うことができる素晴らしい施設で、大変、参考になりました。

また、私は、アジア獣医師会連合(FAVA)会長に就任したことを契機に、ワンヘルスの取組を福岡からアジアへ、さらに世界に広げる拠点とするFAVAワンヘルス福岡オフィス(FOF)を開設することとし、8月1日、天神1丁目1番地のアクロス福岡の最上階でオープンさせることができました。

今後、私は、このFOFの所長を兼務し、福岡県、福岡市等の行政機関、同じビルにある国連機関ハビタットやWHOなどの国際機関、大学、研究機関及び経済界の方々との連携により、動物愛護やワンヘルスの実践に一層取り組んでまいります。当協会の活動へのご支援とともに、FOFの活動につきましても、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

年近く、動物愛護運動に取り組んでまいりましたが、その原点は、麻生太郎現副総理のお母上、麻生和子様のご言葉でした。

当時、日本大学獣医学部を卒業し、ご挨拶に伺ったとき、麻生和子様は、私に「福岡、そして九州で動物愛護運動を起こさない」と助言されたのですが、麻生和様が父上の吉田茂元総理とご一緒に英国に滞在された際、「日本人の動物への接し方はなっていない」と批判されたことが常に頭の片隅にあり、忘れられないということでした。以来、この言葉は、私の人生の指針となりました。

しかし、この思いだけでは事は進みません。動物愛護運動を実践し、広めていくためには仲間と資金が必要です。そこで、私は、思い切って、当時、(株)九州電力の会長をされていた故永倉三郎氏を訪ね、相談をいたしました。

永倉元会長は、戦時中、多くの犠牲者を出したインパール作戦に従軍された経験から「全ての命は平等」という信念を強く持たれている方で、快くご賛同いただき、当協会の理事として物心両面から私たちの活動を支援してくださいました。この永倉元会長のご子息が、現在、当協会の理事を務めていただいている畏友、永倉成二氏です。

九州災害時動物救援センターにて大分県九重町ワンヘルス実行委員会主催のもと KOKO ONE FES(ココワンフェス)を開催いたしました。今回は初めての試みでしたが、当日は約3,500人と多くのご来場を受け、大盛況となりました。来年以降も九重町の皆様を中心として「ワンヘルス」、「人と動物の共生」といったコンテンツを多くの方々に共感していただくことを目標に継続的な開催に向け、取り組んで参ります。今回の開催にあたり、数多くのご協賛およびご協力をいただき誠にありがとうございました。



新理事就任のお知らせ

令和5年8月18日付で九州動物福祉協会として初の女性理事 都築 仁子 理事(都築学園グループ総長)が就任しましたのでお知らせいたします。

九州災害時動物救援センター

所在地:大分県玖珠郡九重町湯坪1625
TEL:0973-79-2741

ココワンフェス
KOKO ONE FES
2023.9.3(日)9:00~16:00

会場案内図

タイムスケジュール

9:00	KOKO ONE FES スタート
9:45	販売一時ストップ (軽中症対策のための飲み物のみ販売)
10:00	『ワンヘルス講演会』 一般社団法人ワンヘルス・クリエイティブ 芝田 良倫 氏
10:40	災害時動物救援センター 施設紹介
10:45	販売再開
11:00	アジリティスタート ※内容は下記参照
12:00	『ペット防災の講演会』 一般社団法人 HUG 富士岡 剛 氏
13:40	第1回 KOKO ONE FES セレモニー FAVA(アジア獣医師会連合)の先生方が集合
14:40	
16:00	KOKO ONE FES 終了

アジリティ・ドッグダンス内容

11:00	ドッグダンス「フリースタイル」
12:00	
13:00	アジリティ デモンストレーション & 体験
14:00	
14:00	「こっちおいでゲーム」
16:00	「椅子取りゲーム」

寄付のご報告

①「九州災害時動物救援センター」への一般寄付

平成28年度	6,658,302
平成29年度	6,203,194
平成30年度	2,619,137
令和元年度	1,349,331
令和2年度	306,981
令和3年度	2,398,927
令和4年度	425,979
累計額	¥ 19,961,851

② 一般社団法人九州動物福祉協会 賛助会員

(R5,3月末現在)

	個人	法人	合計
会員数	24	66	90
入会口数	90	180	270
入金額	90,000	1,800,000	¥1,890,000

皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

『藏内勇夫日本獣医師会会長がアジア獣医師会連合 (FAVA) 会長に就任』

令和4年11月9日、ヒルトン福岡シーホークにて第44回アジア獣医師会連合 (FAVA) 代表者会議が開催されました。

当協会の藏内理事 (日本獣医師会会長) がアジア獣医師会連合 (FAVA) 会長に就任され、「クアザ会長の強いリーダーシップの下で、過去2年間、新型コロナ渦にあっても、精力的にWeb会議やWebinarを開催し、5年間のストラテジックプラン (戦略計画) と具体的な成果目標や

活動内容を規定したアクションプランの策定や、国連食糧農業機関 (FAO) との連携による薬剤耐性 (AMR) 対策の積極的な普及活動には、心から賛辞を贈りたい」と謝辞を述べられるとともに、「これまでのクアザ会長のイニシアティブで強化されてきた活動を継承するとともに一層メンバー国の皆様と連携しつつ、積極的に新しい分野の活動にも取り組んで参ります」と力強く挨拶されました。



『第21回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会』

令和4年11月11～13日、FAVAと公益社団法人日本獣医師会の主催、福岡県と福岡市が共催として『第21回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会』がヒルトン福岡シーホークにて開催されました。

『アジアからのワンヘルスアプローチ』を大会テーマとしてアジア・オセアニア地域をはじめ世界中から多数の獣医師、医療関係者や著名な環境問題の研究者が集い、ワンヘルスに関する最先端の研究・活動の公演が行われ、約2,500名が参加しました。

当協会からは、開会式に薬真寺理事長、講演として草場副理事長 (福岡県獣医師会会長)、主催として藏内理事 (日本獣医師会会長)、野原監事 (福岡県議会議員) が参加しました。



一日目の開会式において、藏内勇夫アジア獣医師会連合 (FAVA) 会長は、開会の挨拶のなかで、「本大会のテーマである『アジアからのワンヘルスアプローチ～動物と人の健康はひとつ。それは地球の願い～』は新型コロナウイルス感染症など人獣共通感染症や薬剤耐性 (AMR) への対策において人及び動物の健康並びに野生動物を含む環境保全を一体的に捉え、獣医師、医師及び環境分野の研究者等が連携して活動するワンヘルスの概念の実践が一層求められることから3日間における特別シンポジウムは人獣共通感染症、薬剤耐性 (AMR) 対策、各分野や関係機関におけるワンヘルスの取り組み、そして『アジアワン

ヘルス福岡宣言2022』の採択・調印に至るワンヘルス・ストリームを展開し、ワンヘルスの先進地である福岡県で開催される本大会の成果を踏まえ、ワンヘルスの重要性をアジアに、世界に発信してまいります」と決意を述べられました。

二日目はFAVA大会参加者をお迎えしてガラディナーが開催されました。

来賓として麻生太郎自民党副総裁、林芳正外務大臣、オサホン・エナブレ世界医師会会長、ラファエル・ラガンズ世界獣医師会会長等が出席されました。

ガラディナーでは『太宰府天満宮の神楽』、『九州交響楽団の弦楽四重奏』、『林 摩耶さんによるオペラステージ』が用意され、福岡県産の美味しい農産物やお酒を堪能していただきました。

三日目の閉会式で藏内FAVA会長は、かわおか よしひろ「河岡 義裕先生の記念講演、一般講演や学会・年次大会の講演など、それぞれ活発な討議及び意見交換がなされたことにより『アジアワンヘルス福岡宣言2022』はアジアから世界に向けて、ワンヘルスの重要性と今後の方向性を発信する輝かしい成果となった」と総括されました。



『アジアワンヘルス福岡宣言2022』

ワンヘルスは、動物と人の共生社会づくり、生物多様性や環境の保全などによって、地球や社会の持続的な発展を目指している。

現在、世界では、COVID-19、新型インフルエンザ、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) など人と動物の共通・新興感染症の国境を越えた発生や、薬剤耐性 (AMR) が大きな課題となっている。このようなことから、FAVA加盟国は、連携・協力してワンヘルスを実践しなければならない。

我々FAVA加盟獣医師会及び所属する獣医師は、ワンヘルスの先進地である福岡県において開催された第21回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会の成果を踏まえ、「FAVA戦略プラン2021-2025」に基づくワンヘルスアプローチを一層発展させ、その実践活動をアジア・オセアニア地域から世界に向けて発信することを決意し、以下のとおり宣言する。

1. 新興・再興感染症を含む人と動物の共通感染症の予防及びまん延防止に万全を期するため、感染源、感染経路及び宿主対策についての調査・研究体制を整備するとともに、情報の共有に努める。
2. 薬剤耐性菌が医療と獣医療において重大な脅威となっていることから、抗菌剤の慎重かつ適正な使用を徹底し、薬剤耐性 (AMR) 対策を推進する。
3. 動物と人が共生する社会を構築するため、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進する。
4. 獣医学教育の更なる整備及びワンヘルスアプローチによる国際連携により、WOAH (OIE) Day One Competencies (獣医師が具備すべき知識・技能・態度) を有する獣医師の育成に取り組む。
5. 医療関係団体、行政機関、市民団体及び大学、WVA、WOAH (OIE)、WHO、FAO、UNEPなどの国際機関と協力し、ワンヘルスの課題解決と推進に取り組む。
6. アジアにおけるワンヘルスの課題への研究と児童、生徒及び市民に対するワンヘルス教育の普及のために、FAVA活動の拠点を整備・強化する。

2023年8月1日アクロス福岡にてオープン FAVAワンヘルス福岡オフィス (FOF)

FOFのミッション

1. 人間、動物、環境の健康を促進
2. 異分野の連携を強化
3. 教育と啓発活動の推進
4. アジア地域におけるデータ収集と分析の促進、情報の拡散
5. 国際協力の拡大
6. 地域経済の発展へのOne Healthアプローチによる貢献

FOFの具体的な取組

- FAVAワンヘルスアクションプランの実践活動
- 各国のワンヘルス活動の情報収集、共有
- FAVA大会、各国へのワンヘルス企画への協力
- ワンヘルスに関する多言語教材の作成、配布
- ワンヘルス関連国際フォーラム及びセミナー
- ワンヘルス体験研修及び実践教育
- 関係機関、特にハビタット福岡本部との連携
- 国内及び福岡県へのワンヘルス活動への協力、支援